

## 「戦争する国をめざす秘密保護法に反対し、いのちを守ろう」宗教者アピール賛同団体からのメッセージ

※メッセージの順番は、アイウエオ順になっております

団 体 名	メ ッ セ ー ジ
1 会津放射能情報センター	<p>福島原発4号機から燃料棒の取り出しが始まりました。これに向けて燃料棒の上に散乱していた瓦礫がいつの間にか撤去されました。その作業が進んでいることは知らされていませんでした。汚染水報道の影ですすめられていたと思われます。瓦礫の撤去によって原発事故の貴重な証拠がなくなりました。本来、検察や警察の現場検証が行われ事故発生の責任を追及が行われて当然であるにも拘わらず、日々証拠が隠滅されています。</p> <p>今ですら、私たちの「知る権利」が正当に行使されていないのに、秘密保護法が制定され国民に知らせる必要がないと判断されれば、全ては闇の中に葬られてしまいます。想像するだけで恐ろしいことです。</p> <p>原発事故を起こした私たちは、苦しみの現実に謙虚に向き合わなくてはなりません。それもしないままに、国家を統制する方向へ舵を取ることは、思い上がりも甚だしく、子どもたちに無責任極まりない未来を押しつけてしまいます。断固として、秘密保護法を阻止しなくてはなりません。</p>
2 秋田宗教者九条の和	<p>国民の目と口をふさぐ「秘密保護法」には絶対反対です。国民の皆様、戦前・戦中の「治安維持法」下の暗黒日本の再来を阻止しよう！！</p>
3 カトリック援助修道会西成修道院	<p>”戦争”は罪悪です。戦争をして良いことはありません。「国破れて山河あり」と昔の人は言いました。しかし、現代の戦争は、山河も残さず、生物の生命のみでなく、この美しい地球を滅ぼす程のものです。かつての治安維持法を復活させてはなりません。人を、いのちを、宇宙を無傷で次の世代に渡したいと切に望みます。</p>
4 日本カトリック正義と平和協議会	<p>「特定秘密の保護に関する法律案」が可決すれば、日米同盟の関係強化のもと、あらゆることが秘密裡にすすめられ、「日本国民は、政府の行為として国家として再び戦争の惨禍が起こることのないように、この憲法を確定する」と世界に宣言した平和への決意を根底から揺るがしていくことになるでしょう。日本カトリック正義と平和協議会は、日本国憲法の基本原理を尊重する立場から、また人間の尊厳に関わる自由で平和な社会を求める宗教者の立場から、本法案に反対します。</p>